

平成29年度「オホーツク心の教育推進月間」における取組

重点1	いじめ等の未然防止に向けて、学校、家庭、地域、関係機関が一体となった児童生徒のコミュニケーション能力を育成する機会の充実
重点2	いじめ等の早期発見に向けて、保護者支援を含めた関係機関の連携による支援体制の充実

学校名	重点1について	重点2について
北見市立 端野小学校	○郷土や学校を題材とした劇や音楽発表を含む学芸会の実施	○道徳の時間の公開研究会の開催
北見市立 留辺蘂小学校	○地域の関係機関等の協力を得た、児童会の取組の充実 ○自己肯定感や思いやりの心を育むふれあい交流会の開催	○Q-Uを活用した支援体制の強化 ○いじめの実態や未然防止のための学校関係機関等の交流会の開催
北見市立 温根湯小学校	○思いやりの心の育成や児童の居場所づくりにつながる「なかよしデー」の開催 ○思いやりの心を育む障がい者施設への訪問	○いじめの実態や未然防止について考える人権教室の実施
北見市立 瑞穂小学校	○中休みを利用した「プレイタイム」及びエンジョイタイムの充実 ○児童生徒会が中心となった、地域の高齢者とのふれあい交流会の開催	○児童生徒と地域住民との触れ合いを目的としたPTA研修会やレクリエーションの開催 ○地域公開参観日における校内弁論大会の開催
北見市立 常呂小学校	○地域の保育園や保育所の協力を得た、児童会が中心となった集会活動の充実	○いじめ未然防止に向けた研修と校内相談体制の充実
北見市立 錦水小学校	○児童、保護者、学級担任による、地域のスポーツ施設(ボウリング場)での交流や食事 ○全校児童、保護者、地域住民の指導者とのカーリング授業の実施 ○児童会主催による全校遊び	○全校参観日に道徳の時間の授業公開 ○いじめの実態、未然防止のための自治区小中学校との情報交流
北見市立 川沿小学校	○全校朝会、登校の時間帯、学校の始業前の時間を利用して、児童会が中心となり挨拶運動を実施した。	○PTAが主催する親子キャンプの様々な取組の中で保護者、児童、教員が交流し、連携の絆を深める。
北見市立 中央小学校	○北見市小中合同音楽会等、各種音楽発表会への参加をとおした豊かな心と感性の育成 ○地域の商店街や関係機関の協力を得た社会見学(職場体験)の実施	○いじめや不登校問題への対応について考えるPTA研修会(映画「みんなの学校」上映会)の開催 ○特別支援教育と家庭環境・生徒指導等を含めた複雑多岐にわたる問題行動に関する関係機関との情報交流及び関係者会議の開催
北見市立 東小学校	○思いやりの心と自己肯定感を高める児童会主催の「やさしさの木」運動 ○「元気・やさしさ・笑顔」を目的とした児童会による朝の挨拶運動 ○いじめ未然防止を目的にPTAと連携したスマホ携帯安全教室の実施	○いじめ未然防止や保護者支援を目的とした教育相談の実施 ○児童の実態把握や統一した指導を目的とした児童館との意見交流会の開催
北見市立 西小学校	○児童会が主体となった、学校と家庭が連携しての「あいさつ・ありがとう運動」及び「赤い羽根募金活動」の実施	○中学校区内3校による連携会議を開催による、小中連携を図った生徒指導体制の確立
北見市立 南小学校	○自己肯定感や思いやりの心を育む川東学園や老人福祉施設とのふれあい交流会の開催	○アセスを活用した、一人一人の児童理解に努める支援体制の強化
北見市立 北小学校	○他学年との交流を深めることを目的に、全校児童がより一層仲よくなり、楽しい学校生活を送れるよう、給食交流会を実施した。	○年2回の児童アンケートを実施し、学校全体や児童一人一人の実態の把握を行った。
北見市立 上常呂小学校	○児童会による「誰かに言いたいありがとう」の取組等、肯定感ややさしさを育む活動の充実 ○「いじめ・ネットトラブル根絶！標語コンクール」への取組	○子ども理解支援ツール「ほっと」を活用した支援体制の強化 ○個人面談の実施 ○参観日での道徳の時間の授業公開(上常呂中学校への参加の呼び掛け)
北見市立 相内小学校	○児童の活躍の場を生かし、互いが認め合い、仲間を励まし合える発表の場の充実に向け、学芸会において保護者や地域住民の心に届く心を込めた発表を行った。	○いじめの未然防止、開発的な生徒指導をねらいとした授業の取組(「ネット・薬物親子安全教室」の開催(ドコモCSの講師の方や学校薬剤師の方を講師として招聘した。))

北見市立 上仁頃小学校	<ul style="list-style-type: none"> ○北見人権擁護委員協議会と連携した「人権教室」の開催 ○近隣小中学校との交流学習会及び学校訪問の実施 ○児童会を中心とした、友達のをさを認め合う取組の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめの実態把握や未然防止に向けた校内研修の強化 ○校内における支援体制の見直しと強化
北見市立 東相内小学校	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の関係機関等の協力を得た、児童会の取組充実(あいさつ運動、いじめなくそう週間等) ○縦割り班活動による異学年の活動の充実による心の交流 	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども理解支援ツール「ほっと」を活用した支援体制の強化 ○いじめの実態や未然防止のための学校関係機関等の交流会の開催(保護者との連携学級懇談会、PTA役員会) ○道徳の時間の充実
北見市立 豊地小学校	<ul style="list-style-type: none"> ○学芸会を実施し、演技をとおして児童のコミュニケーション能力を育成した。保護者や地域住民に公開したことにより、児童の自己肯定感を高めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域参観日を実施し、道徳の時間の授業を公開した。
北見市立 大正小学校	<ul style="list-style-type: none"> ○地域企業による「登校見守り・交通安全指導」の実施 ○学校農園でお世話になった地域住民及び北見市農政課の方々と給食試食会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○読む・調べる・くつろぐ 学校図書館～学びのたまり場づくりプロジェクトの実施(生活リズムチェックシート読書編を活用した取組～読書週間)
北見市立 若松小学校	<ul style="list-style-type: none"> ○地域や保護者を招いての「収穫祭」の開催と交流 ○児童会を中心とした、周りの人に感謝の心を伝える「ありがとうプロジェクト」 ○地域の高齢者の方や祖父母との交流を図る「祖父母参観日」の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○hyper-QUの結果の分析及び交流 ○人権擁護委員による保護者を含めた「人権教室」の開催 ○道徳教育の年間指導計画の作成と中学校の道徳の時間の授業参観及び交流
北見市立 小泉小学校	<ul style="list-style-type: none"> ○10月あいさつ運動(児童代表委員会の取組) ○11月ろうか安全運動(児童代表委員会の取組) ○児童による声かけ運動 	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめアンケートに基づく個別相談の充実 ○PTA主催による、親子で楽しむ「みんなあつまれ！！ハッピーバルーンタイム！！」の開催
北見市立 三輪小学校	<ul style="list-style-type: none"> ○児童会による保護者や地域と連携した、赤い羽募金活動の実施 ○保護者を招いた収穫祭(カレー作り)の実施 ○地域住民「見守り隊」と連携した挨拶指導 	<ul style="list-style-type: none"> ○事前アンケートによる、双方向性のある保護者及び地域住民への道徳の時間の授業公開
北見市立 高栄小学校	<ul style="list-style-type: none"> ○思いやりの心を育むふれあい交流会の開催 ○優しさを育む児童会の「ハッピーツリー」の取組 ○地域の関係機関の協力を得た授業の充実 ○参観日に道徳の時間の授業を公開し、懇談会で話題と取り上げるなど、家庭と一体となった取組 	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめの実態や未然防止のための学校関係機関等の交流会の開催 ○児童の実態把握と道徳の時間の授業改善
北見市立 北光小学校	<ul style="list-style-type: none"> ○児童会が主体になり、「いじめ防止の学級目標設定」、「学級いじめチェック」を行い、全校でいじめ防止意識を高めた。 ○いじめ等標語コンクールへ応募した。 ○学芸会を「北海道教育の日」協賛事業にした。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校便りで、関係機関やいじめ相談窓口の紹介を行い、児童及び保護者の支援体制の充実を図った。 ○PTAの会合及び学校評議員会で情報交流を行った。
北見市立 緑小学校	<ul style="list-style-type: none"> ○児童会主催による互いにつながり、仲よくなることを目的とした異学年交流レクレーションの実施 ○生活科での第2学年が第1学年を招待しての触れ合い活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○緑地区児童センターとの児童についての情報共有 ○緑子連主催行事への積極的な協力 ○参観日における道徳の時間の授業公開
北見市立 美山小学校	<ul style="list-style-type: none"> ○「北海道教育の日」の直近の10月29日、保護者や地域住民が集う学校行事「学芸会」において、児童会が作成したいじめ防止のポスターや呼び掛けのパンフレット等を掲示し、地域の教育力を生かす啓発活動を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳の時間の参観日による公開 ○生徒指導連携協議会による近隣小学校や域内の異校種との情報交換 ○地域民生委員との連携や学校評議員会等で地域住民との児童の学校や家庭生活に関わる情報交換
網走市立 網走小学校	<ul style="list-style-type: none"> ○「おやじのフェスティバル」 家庭教育支援の視点から、気軽に親子で楽しめる場を提供するとともに、参加者が児童との触れ合いを深めながら、親子の良好な関係について見つめ直し、家庭教育力の向上を図る契機とすることをねらいとしたイベントである。4年目となる今年度は網走市立南小学校を会場に開催し、本校の児童と「父道の会」も参加及び運営協力をした。保護者や異なる学校の児童と交流する姿が見られるなど、本校児童にとっては、人との関わりを学ぶ機会となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○公開研究会の開催とそれに向けた取組(公開研究会は12月1日実施) 今年度は特別研修会を8月に開催し、筑波大学附属小学校加藤教諭を講師として招聘するとともに、全学級で道徳の時間の授業を全学級公開した。その成果を基に、12月1日に公開研究会では、4本の道徳の時間の授業を公開した。取組期間には、各グループ毎に新学習指導要領の理念を学びつつ、児童に道徳科で付けるべき力が身に付くよう授業の展開を協議した。当日は、網走市立第一中学校教職員が5名参加し、参観及び協議等とおして、連携を図った。

<p>網走市立中央小学校</p>	<p>○全校児童が遊びをとおして仲よくなれるよう、児童会三役が企画した「たてわり集会」を実施した。 ○どんな遊びをすれば児童が仲よくなれるかを考えて、内容を決めた。今年度は、「大なわ集会」を行った。事前に練習日を設け、縦割り班のメンバーが話し合い、関わり合い工夫し合える場とすることにより、楽しく交流が深められた。</p>	<p>○子ども理解支援ツール「ほっと」を年間2回実施し、全教職員で交流を行い、継続した児童理解及び児童支援に努めた。</p>
<p>網走市立西小学校</p>	<p>○児童会活動「ぼかぼかウィーク」の実施 昨年の児童アンケートの中で「ぼかぼか言葉」の第1位に選ばれた「ありがとう」を広げる取組である。生活の中で、他者に「ありがとう」と伝えたいと思ったことをカードに書き、花の形になるように、壁に掲示した。この取組により、他者とのあたたかなつながりを意識するよい機会となった。</p>	<p>○Q-Uを活用し、客観的尺度をもって、学級集団の状況や個人の抱える問題の把握に努め、対応に生かした。調査結果を分析することにより、児童一人一人の内面を理解し、児童のタイプによる具体的な対応の方法を知ることができた。</p>
<p>網走市立呼人小学校</p>	<p>○地域の防犯協会による防犯標語の募集に併置の中学校とともに全学年で応募し、インターネットを悪用した被害の例を知るとともに、ネットいじめについて考えさせる場とした。標語の優秀作品は地域の公共施設等で地域ぐるみの啓発活動に活用された。 ○児童会が中心となり、あいさつ運動と全校遊びを実施した。網走市子ども会議において、取組と成果について交流した。</p>	<p>○子ども理解支援ツール「ほっと」の活用により、個々の児童が抱える不安や悩み等を理解するとともに、集団のコミュニケーションの状況等課題を全教職員で共有した。 ○「SNS等の正しい使い方講話」を実施し、スマートフォンやインターネットを通じて様々な犯罪や被害につながっていることや、健全な人間関係への与える影響について学習した。</p>
<p>網走市立南小学校</p>	<p>○全校児童が、楽しく仲よくなれるような集会の実施(児童会企画) ○家庭教育支援の視点から、気軽に親子で楽しめる場を提供するとともに、参加者が児童との触れ合いを深めながら、親子の良好な関係について見つめ直し、家庭教育力の向上を図る契機とすることをねらいとしたイベント(オヤジのフェスティバル)の開催</p>	<p>○いじめの実態把握や未然防止のためのいじめアンケート及び教育相談の実施 ○教職員研修(校内)の実施 ○客観的尺度をもって、学級集団や個人の抱える問題の把握に努め、その対応に活かしていくためのQ-U検査の実施及び活用(第5学年対象) ○道徳教育の充実のため、道徳教育推進校の授業公開への参加</p>
<p>網走市立潮見小学校</p>	<p>○自己肯定感や思いやりの心を育むふれあい交流会(児童会三役主催給食交流やあいさつ運動・体育委員会主催ドッジビー大会)の開催 ○児童代表による「どさんこ☆子ども全道サミット」参加。サミットで話された内容について児童会三役による児童会だよりの作成及び全学級への配布</p>	<p>○アセスの集計結果を基に、教育相談委員会を開催し、「要学習支援領域」、「要対人支援領域」に含まれる児童及び「生活満足度の適応度30未満」の児童を中心に今後の対応について話し合った。 ○いじめアンケートを実施した上で、学級担任が児童と面談を行った。必要に応じて学年部・生徒指導部で対応し、PTA役員や保護者、民生委員、スクールガードから情報が提供されるよう体制を整備している。</p>
<p>網走市立東小学校</p>	<p>○縦割り班を生かした、児童会主催の集会活動の取組の充実 ○思いやりの心を育む網走市寿大学との交流会の開催 ○「どさんこ☆子ども全道サミット」の自校内還流と他校の実践から学んだ新たな児童会の取組「あいさつ運動」の実施</p>	<p>○子ども理解支援ツール「ほっと」を活用した支援体制の強化 ○いじめの実態把握や未然防止、児童理解のための教育相談の実施</p>
<p>網走市立白鳥台小学校</p>	<p>○地域住民との関わりを深める体験学習の充実 ・いもほり体験学習 ・水鳥湿地センター学習 ・北海道観光列車イベントへの参加 ・市民文化フェスティバルへの参加 ○思いやりの心を地域とともに育む特別活動の充実 ・応援し、励まし合うことを重視したマラソン大会 ・児童会が率先して行う挨拶運動や全校遊びの実施</p>	<p>○子ども理解支援ツール「ほっと」を活用した児童相互の人間関係の把握と学級経営へのフィードバック ○職員会議や校内研修を活用した、児童の実態の交流と指導方針の共有 ○「親切、思いやり」を重点目標とした道徳の時間の授業の確実な積み重ね</p>
<p>網走市立西が丘小学校</p>	<p>○地域の保育園の協力を得た、クラブ活動の取組の充実 ・ボランティアクラブによる保育園訪問 ○自己肯定感や思いやりの心を育むふれあい交流会の開催 ・児童会の各委員会が「全校児童が仲のよい学校」になるための取組</p>	<p>○教育相談を活用した支援体制の強化 ・朝の自学タイムを活用し、学校生活等の心配事や悩み等の相談及び児童のよさや伸びを認める場として学級担任と児童の個別面談を実施 ○いじめの実態や未然防止のための学校関係機関等の交流会の開催 ・小中連携生徒指導部会の会議の実施</p>

紋別市立 紋別小学校	○家庭・地域の協力を得た学校行事をととして学年・学級の人間関係の充実を図った。 ○家庭、地域、関係機関の参加協力を得ながら、自己肯定感や思いやりの心を育む児童会集会活動を開催した。	○紋別市小中連携ネットワーク会議による情報の共有、教職員の交流を通して連携強化を図った。 ○PTA連合会研修会への積極的な参加をととして、学校、保護者、関係機関と情報共有を図った。
紋別市立 潮見小学校	○児童会、各委員会主催の異学年触れ合い交流イベントの開催	○子ども理解支援ツール「ほっと」を活用した支援体制の強化 ○いじめの未然防止等のための中学校区での情報交流会の開催 ○校区内中学校での道徳の時間の授業交流への参加
紋別市立 上渚滑小学校	○思いやりの心を育む保育所との交流を図ったお祭り集会の開催	○小中連携ネットワーク会議の開催
紋別市立 渚滑小学校	○「ありがとうBOX」の設置による、全校朝会でありがとうの思いを発表する児童会活動の取組 ○各教科等の指導において、望ましい人間関係の形成や、思いやりの気持ちや規範意識の醸成を図る活動	○参観日における道徳の時間の授業公開 ○いじめの実態や未然防止のための学校関係機関交流会への参加 ○定期的な教育相談等により早期発見に努めるとともに、組織的で速やかに解決を目指す体制整備
紋別市立 小向小学校	○地域住民の指導を受けた、栽培した野菜などの調理と地域住民への提供	○道徳教育を含めた教育課程全般について、市内全校が一貫した方針で取り組む体制づくりの推進 ○中学校区での連携事業による早期交流 ○小規模校が中規模校の児童と交流する4校交流学习
紋別市立 南丘小学校	○巡回司書による定期的な絵本の読み聞かせ(ほんのわ) ○PTA有志による定期的な読み聞かせ(おはなしの部屋) ○児童会主催による異学年交流会(環境集会、合同給食等)	○道徳教育推進教員を中心とした道徳の時間の授業の活性化 ○定期的なアンケートと追跡聞き取り調査 ○市児童生徒校外生活指導連絡協議会を活用した情報交流 ○児童館との情報共有
大空町立 東藻琴小学校	○人権擁護委員会の協力を得た、いじめ問題について深く考える「人権教室」の実施 ○地域漁協の協力による、命の大切さを学ぶ「サケの授業」の実施	○中一ギャップの未然防止に向けた中学校との合同授業の実施
大空町立 女満別小学校	○児童会役員による「あいさつ運動」の実施(通年)	○毎月一度、教育相談員が来校し、課題のある児童と保護者について情報交流を行っており、役場福祉課の職員と連携を図りながら課題の解決に当たっている。
美幌町立 美幌小学校	○児童会による挨拶運動の実施 ○いじめ防止ポスターの掲示	○教育相談やQ-U等を活用した支援体制の強化
美幌町立 東陽小学校	○地域の関係機関等の協力による、学年を越えて触れ合う交流会の実施 ○児童の相互理解とよりよい関係づくりを目的とした、昼休みを活用しての児童会による全校遊びの実施	○Q-Uを活用した支援体制の強化 ○いじめの実態や未然防止のための学校関係機関等の交流会への参加
美幌町立 旭小学校	○協力性、相手意識、仲間とともに物事を成し遂げようとする態度を育む集会行事の実施(保護者、地域住民を招いて)	○町民参観日での道徳の時間の授業公開(第4学年)
津別町立 津別小学校	○「縦割り清掃」の実施(異学年との交流を図り、思いやり、お世話をする気持ちや態度を育む。) ○児童委員会によるレクリエーションの開催(多くの児童同士がコミュニケーションを図る。)	○Q-Uの実施による児童一人一人の状態や学級の状態の把握と改善に向けての取組 ○「生徒指導交流」で児童に係る全職員の共通理解 ○保健師と連携した家庭支援と、児童の特性の見取りやカンファレンスによる指導方法の改善
斜里町立 斜里小学校	○11月20日～12月1日の活動期間中、児童会と第3学年以上の学級委員と各学級10名程度の手伝いの人を中心となって“HAPPY モーニング”を行った。全校児童がハートフルに挨拶を交わし、コミュニケーションスキルを高めることができた。	○11月18日の土曜授業において、全校参観日を開催し、児童の様子を保護者が参観した。学級懇談では、学級担任と保護者が情報を共有し、いじめの未然防止や学校と家庭の連携の強化を図った。

斜里町立 朝日小学校	<ul style="list-style-type: none"> ○自己肯定感や思いやりの心を育む「縦割り給食活動」、「縦割り清掃活動」、「全校遊び」等の異学年交流会の開催 ○「どさんこ☆子ども全道サミット」、「どさんこ☆子ども地区会議」への児童会の参加とその取組を生かした児童会活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○Q-Uを活用した児童理解と児童一人一人が居心地のよさを感じる学級集団づくり「先生と話そうタイム(教育相談)」の実施 ○全学年一斉の道徳の時間の授業の地域公開(期間外) ○外部講師による「ケータイ・スマホ安全教室」の児童・保護者向け講演会の開催
斜里町立 知床ウトロ学校	<ul style="list-style-type: none"> ○自己肯定感や思いやりの心を育む地域行事(敬老会等)への参加 ○道の駅における、児童による観光客対象のアンケート実施と動物へのえさやり防止啓発パンフレットの配布(知床斜里観光協会の協力) ○「親子遊びの広場」による生徒と保護者、地域住民、未就学児との交流 	<ul style="list-style-type: none"> ○公開研究会での道徳の時間の授業公開と外部講師の招聘 ○いじめ未然防止に向けた斜里町スクールソーシャルワーカーや教育局指導主事との連携 ○北海道教育大学附属釧路小・中学校公開研究会における道徳の時間の授業参観での情報収集と研究協議の参加
清里町立 清里小学校	<ul style="list-style-type: none"> ○児童会が中心となって、「やさしさ・思いやり」を合言葉に、いじめのない学校づくりに向けて、各学級で取り組みたい活動を考えたり、代表委員会でまとめた。りした。 ○全校朝会で、児童会が日常の生活の様子を劇で演じ、「やさしさと思いやり」のある言動とはどのようなものか、全校児童で考える機会を設定した。 ○「どさんこ☆子ども全道サミット」へ児童会役員が参加し、いじめの未然防止の取組を交流した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども理解支援ツール「ほっと」を活用して、支援体制を強化した。 ○いじめの実態や未然防止を含む学校関係機関の交流会へ教職員・PTA役員が出席し、実態等について交流を図った。
清里町立 光岳小学校	<ul style="list-style-type: none"> ○親子、地域とのコミュニケーションを図れるような教育講演会を実施し、心の育成を行う。 ○PTA主催の「ミニバレー&風船バレー大会」を実施し、心の育成を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども支援ツール「ほっと」等を活用しての支援体制の強化 ○学校内の道徳の時間の授業交流及び参観日等での道徳の時間の授業公開
清里町立 緑町小学校	<ul style="list-style-type: none"> ○地域産業について学習した結果を地域住民の前で発表して意見をいただく地域住民とのコミュニケーション図る活動をとおした、自己肯定感やお世話になった人への感謝の気持ちと思いやりの心を育む活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○全職員が共通理解の基で指導に当たることを目的とした毎週の生徒指導交流会の実施 ○生徒指導に関する助言を得るため、年数回の教育支援専門員による学校訪問の実施
小清水町立 小清水小学校	<ul style="list-style-type: none"> ○小清水高等学校閉校式に向けた、小学校児童会及び中学校生徒会による共同作品製作の取組 ○思いやりの心を育む中学校第3学年と小学校第1学年によるふれあい体験の実施 ○就学前児童との触れ合いを大切にす第1学年との交流学習の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○小中学校教職員、町民生児童委員、地域警察による「いじめ防止対策委員会」の実施 ○児童、保護者へのいじめに関するアンケートの実施及び実態把握。
訓子府町立 訓子府小学校	<ul style="list-style-type: none"> ○児童会企画による全校集会の実施。(歌声集会・スポーツ集会・1年生を迎える会) 	<ul style="list-style-type: none"> ○青少年育成連絡会議の実施 ○外部講師を招聘した、近隣校と合同の情報モラル教育の実施
訓子府町立 居武士小学校	<ul style="list-style-type: none"> ○児童会三役の主体的な企画による全校児童で触れ合う活動の実施 ○児童会文化委員会の主体的な企画による全校児童のお薦め図書を紹介 ○学芸会で児童作品展を開催し、地域住民が児童について交流できる時間の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭学習表の取組による保護者との情報交流 ○参観日及び懇談会における保護者への情報提供 ○地域の放課後児童クラブ「みつばちクラブ」との連携
置戸町立 置戸小学校	<ul style="list-style-type: none"> ○児童会の縦割り班による独自の集会活動を計画し、異年齢集団による交流を促進する取組の充実 ○高学年のリーダーシップを育て、下級生に対する思いやりや上級生を敬う気持ちを育てる取組の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童、保護者が安心できる教育相談環境づくりの強化 ○いじめ等の早期発見に向けて、子育て・家庭教育支援の取組の充実
佐呂間町立 佐呂間小学校	<ul style="list-style-type: none"> ○マラソン大会、各種作品展展示会、学芸会等、多くの保護者や地域住民と接する中で、児童の地域での活動の様子を共有する機会を設定し、生徒指導部と連携して安全な学校生活を過ごせるよう対応した。 ○佐呂間町の社会教育委員を中心とする、小中高連携会議への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめアンケートの継続的实施により、学級全体の様子の把握だけでなく、児童個々の小さなサインを見逃さない体制を整備した。 ○心配のある児童全員に教育相談を実施し、保護者と連携を取りながら児童のケアに努めた。 ○学校便り(地域全戸に配付)でいじめアンケートの結果を公表し、教職員で見取れない情報を広く地域から提供していただいた。
佐呂間町立 若佐小学校	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の関係機関等の協力を得た、地域行事への積極的な参加 ○地域派出所と協力した、生活安全集会の開催 ○学校生活上、心配のある児童への教育相談の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○全保護者対象の教育相談の実施 ○町内小学校、中学校、高等学校が集まる生徒指導委員会の実施 ○親子で行うPTA研修会の実施

佐呂間町立 浜佐呂間小学 校	○同学年、異学年間の円満な人間関係育成を目指した児童の委員会主催による遊びの会、ミニ体育の実施	○子ども理解支援ツール「ほっと」の活用による、学級の実態把握
遠軽町立 生田原小学 校	○児童の自己肯定感や思いやりの心を育む取組として、社会福祉協議会、地域の老人クラブ等の協力を得た「異世代交流会」の開催及び「一人暮らしのお年寄り宅訪問」の実施 ○児童会主体の取組「赤い羽根共同募金」では、長年に渡る活動が認められ、9月に中央共同募金会より表彰を受けた。	○いじめの実態把握や未然防止のための「教育相談」の取組 ○学級や児童の様子を交流する「生徒指導交流会」の定期的な実施
遠軽町立 安国小学 校	○児童会による「協調性」、「協力性」を盛り込んだ月別生活目標の設定と呼び掛け	○いじめの実態や未然防止のための校内サポート会議の開催、児童の実態交流、支援方法の共通理解
遠軽町立 遠軽小学 校	○全校ゲーム等、異学年交流を図る交流会の開催	○いじめ未然防止のため、教育委員会相談室や児童館と連携を図り、児童の様子について交流会を開催した。 ○子ども理解支援ツール「ほっと」を活用した支援体制の強化
遠軽町立 東小学 校	○地域の老人クラブとの学習交流会を開催し、思いやりの心を育んだ。	○道徳の時間の授業公開
遠軽町立 南小学 校	○児童会でのいじめ防止の呼び掛け及び児童の交流を図ったミニ行事の企画・運営 ○全校児童によるたて割り清掃の継続 ○「どさんこ☆子ども全道サミット」への児童会役員の参加及び交流	○いじめアンケートの実施及び結果の保護者への公表 ○いじめ相談窓口の保護者への周知 ○社会教育と連携した親子行事(おもしろ科学館)の開催
遠軽町立 瀬戸瀬小学 校	○ふるさと学習として、テーマを設定し地域の人たちから直接話を聞き、児童同士で考え交流を深める活動の充実 ○全校スピーチを行い、テーマごとに児童が自らの思いを交流し合う活動の充実	○子ども理解支援ツール「ほっと」の活用 ○児童の様子に係る保護者と教職員の積極的交流の推進 ○道徳の時間の授業の保護者への公開
遠軽町立 丸瀬布小学 校	○児童会を中心としたあいさつ運動 ○学習委員会を中心とした赤い羽根共同募金活動(北海道共同募金会長表彰、共同募金運動優秀学校に表彰)	○道徳の時間の授業公開(年間を通して全学年で授業公開) ○いじめの実態把握のためのアンケートに基づく教育相談の充実
遠軽町立 白滝小学 校	○地域住民が来校し、たくさんの声援を送る白滝小、白滝保育所合同学芸会 ○各学級の授業公開後、児童、保護者、教員が会食し、ドッジボールをして汗を流す等、触れ合いを目的とした全校参観日の実施	○いじめや不登校等の実態把握や未然防止のための、教育委員会の相談員との緊密な情報交換・連携 ○町生徒指導連絡協議会に生徒指導担当者が参加及び校内における課題の共有
遠軽町立 東小学 校望の岡分 校	○施設と連携した生徒会活動 ○施設共催行事の充実 ○ボランティア団体との交流会の開催	○毎朝の全教職員・施設職員の合同打合せの実施 ○定例の暮会による、児童生徒のその日の状況確認と職員全体での情報共有及び施設への情報提供
湧別町立 上湧別小学 校	○児童会の取組である、「皆が笑顔になるために」を合い言葉にした、異学年交流のゲームやイベントの定期的な開催 ○「どさんこ☆全道子どもサミット」へ児童会役員の参加 ○町内の特別養護老人ホームとの交流をとおした、児童会の取組の「各学級からのメッセージのお届け」及び第1・2学年による慰問発表と手紙のプレゼント	○地域へ配布している学校便りや学芸会の保護者や来賓への案内文書に、「心の教育推進キャンペーン」の「ハートにじゅん」のロゴを活用した。 ○PTA研修会として、子どものネット環境に詳しい講師を招き、「子どものおかれている現状について」の講演会を実施した。
湧別町立 中湧別小学 校	○「どさんこ☆子ども全道サミット」と連携した「行動宣言」に基づいた児童会での取組 ○児童会主催による「思いやり」「異学年とのふれあい」をテーマとした集会の実施	○湧別町の学校アドバイザーと連携した、不登校、いじめ等の未然防止及び早期対応 ○いじめアンケートや日常観察の強化によるいじめの未然防止及び早期発見
湧別町立 開盛小学 校	○地域のお年寄りや幼児を招待しての餅つき大会の開催 ○自治会・育成会と連携しての廃品・資源ゴミ回収の実施	○学校運営協議会発案の「土曜クラブ」による、地域人材及び教育資源を生かした集団活動の促進
湧別町立 富美小学 校	○敬老参観日やもちつき集会、版画カレンダー作成等、地域住民と学校が一体となって取り組む行事の実施 ○児童と保護者が一緒になってもの作りや活動が行えるPTA研修会の実施	○全校参観日における、自分のよさ、友だちのよさを再発見させ自己肯定感を高める道徳の時間の授業の公開 ○子ども理解支援ツール「ほっと」の活用

湧別町立 湧別小学校	○地域ボランティアの協力による、ふれあいふるさと集会を実施し、他学年、地域住民との交流を深めた。	○全学年で子ども理解支援ツール「ほっと」を実施し、その結果を基に児童理解を深め学級全体の傾向を分析し学級づくりの資料として活用した。
湧別町立 芭露小学校	○「いじめのない明るい学校作り」を目指した、児童会による挨拶運動の充実 ○縦割り「にれっこ班」で行う、朝活動の展開(縄跳び検定・にれっこマラソン等)	○子ども理解支援ツール「ほっと」を活用した、保護者との連携を深める支援体制の充実 ○親子レクや児童の参加を含めたPTA研修の実施による、地域全体で子どもを見守る活動の展開
滝上町立 滝上小学校	○ニコニコ集会の実施(児童会が中心となり、第4～6学年の児童がゲームコーナーや体験コーナーをつくり、全校児童での交流活動を行った。)	○いじめの実態等に関する学校関係機関との意見交換
滝上町立 濁川小学校	○生活目標を「いたわりの心を持とう」に設定し、生活目標を意識して生活できるように児童が全校朝会で発表したり、校内掲示を行ったりした。	○いじめの実態等に関する学校関係機関との意見交換
興部町立 興部小学校	○自己肯定感や思いやりの心を育む講演会への参加 ○地域行事への積極的な参加の呼び掛け ○町社会教育との連携 ○人権の花運動への参加	○役場保健課とのきめ細かな連携及び保護者支援の充実 ○いじめアンケートや保護者アンケート等の各種アンケートの他、日常のきめ細かな児童観察及び保護者との連絡体制の充実
興部町立 沙留小学校	○生徒指導の機能を生かした教育相談の実施 ○学級会での話し合い活動を重視し、児童全員が意見を言える学級経営を実施	○町福祉保健総合センターの保健師との情報交流 ○放課後子ども教室の先生との情報交流 ○町内での研究大会における道徳の時間の授業公開
西興部村立 西興部小学校	○他者を理解し、思いやりの心を育む福祉教育授業の実施 ○児童会が主体となり、いじめ防止に向けたポスターの制作と呼び掛けの実施	○児童の実態を把握し、いじめの未然防止に努める「寄り添いタイム」(教育相談)の実施 ○いじめに関わる教職員研修の開催
西興部村立 上興部小学校	○学校・保護者・地域が一体となって行う学校行事「秋の上小っ子まつり」の実施 ・児童の栽培学習発表を保護者・地域住民に聞いてもらう。 ・児童会が企画した出店に保護者・地域住民を招待し交流を図る。 ・児童の育てた野菜で保護者がカレー、地域のお年寄りが地域伝統の食「流し団子」を作り、昼食会を開催し交流を図る。	○村内小中学校で小中連携のための交流会及び乗り入れ授業の実施 ○村内中学校における道徳の時間の授業を通した、公開研究会への全員参加及び参観日における道徳の時間の授業公開
雄武町立 雄武小学校	○児童、教育委員会、地域住民の参加によるあいさつ運動 ○外部講師によるネットトラブル防止講習会の開催	○教育相談週間を活用した支援体制の充実 ○参観日における道徳の時間の授業公開及び懇談会
雄武町立 沢木小学校	○各種講演会の推奨 ○小中高連携の生徒指導交流会 ○外部講師によるネットトラブル防止講習会の開催	○学校、家庭、地域が連携した見守り活動の実施 ○教育相談週間を活用した支援体制の充実 ○参観日における道徳の時間の授業公開及び懇談会
雄武町立 豊丘小学校	○児童、教育委員会、地域住民の参加によるあいさつ運動 ○「校内子どもの主張発表会」実施と保護者参加	○学校、家庭、地域が連携した見守り活動の実施 ○教育相談週間を活用した支援体制の充実 ○参観日における道徳の時間の授業公開及び懇談会 ○町内小学校交流事業での道徳の時間の授業の実施
雄武町立 共栄小学校	○「おじいちゃん・おばあちゃんとの交流会」を実施し、地域の方々との交流をとおして、自己肯定感や思いやりの心を育んだ。 ○小中高連携の生徒指導交流会へ参加する。	○全校参観日において、全学級で道徳の時間の授業を公開する。 ○町内小学校交流事業において、道徳の時間の授業を実施する。
北見市立 端野中学校	○生徒会における挨拶運動 ○校外での諸機関における、生徒が触れ合う活動の充実	○いじめアンケートをきっかけに、教育相談を充実させるとともに、保護者との連携を図り、早期発見・早期対応を行った。
北見市立 留辺蘂中学校	○地域の関係機関等の協力を得た、生徒会の取組の充実 ○自己肯定感や思いやりの心を育むふれあい交流会の開催	○子ども理解支援ツール「ほっと」を活用した支援体制の強化 ○いじめの未然防止のための学校関係機関等の交流会の開催
北見市立 温根湯中学校	○生徒会が「いじめ撲滅キャンペーン」や「スマイルプロジェクト」等の取組を行った。その内容や生徒の様子を学校便りで各家庭や地域に発信した。	○家庭訪問や懇談会で、保護者からの情報収集を行った。

北見市立 瑞穂中学校	○中休みを利用した「ブレイタイム」及びエンジョイタイムの充実 ○児童生徒会が中心となった、地域の高齢者とのふれあい交流会の開催	○児童生徒と地域住民との触れ合いを目的としたPTA研修会やレクリエーションの開催 ○地域公開参観日における校内弁論大会の開催
北見市立 常呂中学校	○「どさんこ☆子ども地区会議」への参加 ○いじめ撲滅の会議を行い、改めていじめは絶対にしてはならないことを確認した。	○常呂自治区小学校第6学年による中学校体験入学を実施した。中学校第1学年が中心となって計画を作成し、授業や校舎内見学、部活動の紹介や中学校生活の説明を行い、最後にレクリエーションで交流を図った。
北見市立 東陵中学校	○文化祭に向けて例年よりも準備期間(行事時数)を増やし、合唱コンクールなど仲間との絆を深めるための活動に取り組んだ。また、今年度から文化祭を土曜開催とし、当日は250名余の来校者を迎え、保護者や地域住民に生徒の活動の様子を広く発信した。	○定期的に生徒指導交流を行い、各学年の様子を全教職員で共有した。 ○いじめ実態調査や不登校生徒の実態調査を踏まえ、スクールカウンセラーとの定期的な面談等を実施した。また、「いじめや不登校生徒」に対する校内研修を実施した。
北見市立 南中学校	○「網走市子ども会議」への参加等の取組	○道徳の時間の授業を保護者及び校区内の小学校教員に公開した。
北見市立 北中学校	○生徒会が中心となったいじめ根絶に向けた取組の充実 ・生徒会役員がいじめ問題について自ら考え、その対策を検討し、行動に移すことで、いじめの未然防止を図った。 ○「どさんこ☆子ども全道サミット」への生徒会役員全員参加 ・学校外の同年代から多くの刺激を受け、いじめについてより真剣に考え、より効果的な実効策を検討した。	○Q-Uの実施による生徒理解、校内支援体制づくり ・Q-Uの結果を詳細に分析し、学級集団の理解と生徒個々の理解を深めるとともに、年間を通じた支援サイクル、支援体制づくりを行った。 ○道徳の時間についての校内研修及び授業公開
北見市立 光西中学校	○校区内の小学校2校と年3回の小中連携会議を実施し、児童生徒の細かな情報交流を行い、日常の教育活動に生かした。 ○職場体験学習の実施に当たり、地域の事業所と連携を図り、生徒に勤労観やコミュニケーション能力を身に付けさせるとともに、体験活動を通じて生徒の地域への帰属意識を高めた。 ○生徒会が中心となり、ポスター作成や挨拶運動等をおして、言語環境を整備したり、思いやりの心を育ませたりした。	○SNSやインターネットの使用に関するルールづくりを各家庭で進めるよう、通信や懇談会等を通じて啓発した。 ○学校行事やPTA行事、地域の行事等を通じた地域の大人同士の関係構築を図った。 ○道徳の時間の授業実践を積み重ね、生徒の思いやりの心や規範意識を育成した。
北見市立 上常呂中学校	○生徒会の企画による人間関係づくりを目的とした全校レクリエーションの開催 ○北見市教育委員会が主催する「いじめのないまちづくり子ども会議」への参加とプレゼンテーションの準備 ○挨拶から始まる信頼関係づくりを目的とした生徒会の挨拶運動	○地域住民、保護者、教職員が思春期の内面変化を理解するための研修の運営(実施母体は、上常呂地区青少年健全育成会)
北見市立 相内中学校	○いじめの問題について自ら考え、行動し、学校生活の充実を図った。 ○相手の立場を理解させ、思いやりの心を持って接し、自己向上の充実を図った。 ○北見市教育委員会が主催する「いじめのないまちづくり子ども会議」の充実を図った。	○保護者会や各種会議等で交流し、生徒理解を図った。 ○子ども理解支援ツール「ほっと」や事例を基に検証し、支援体制の充実を図った。
北見市立 東相内中学校	○警察と連携した命の大切さを学ぶ教室(法務省人権啓発活動地方委託事業)の開催	○いじめの実態や未然防止のための教育相談体制の強化 ○命の大切さを学ぶ教室(法務省人権啓発活動地方委託事業)後の、命について考える道徳の時間の授業の実施
北見市立 高栄中学校	○北見市教育委員会が主催する「いじめのないまちづくり子ども会議」への参加	○子ども理解支援ツール「ほっと」を活用した支援体制の強化 ○アセスを活用した支援体制の強化 ○SOSアンケートを活用した支援体制の強化
北見市立 小泉中学校	○いじめ・ネットトラブル根絶 メッセージコンクールへの取組	○二者または三者面談による、学校や家庭での生徒の様子に係る保護者との情報交流

北見市立 北光中学校	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭と連携した挨拶運動の推進 ○北見市教育委員会が主催する「いじめのないまちづくり子ども会議」への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ○オープンスクールでの地域への道徳の時間の授業公開 ○いじめアンケート結果の地域への公表をとおして、地域全体で生徒を見守る支援体制の強化
網走市立 第一中学校	<ul style="list-style-type: none"> ○PTA環境整備活動での保護者、生徒、教職員による共同清掃活動 ○生徒会役員による登校時あいさつ運動 ○生徒会役員主催の異学年の各種交流の取組(球技大会、給食交流、モザイク画制作等) 	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳の時間の校内研究授業及び公開研究会による授業公開 ○Q-Uを活用した生徒集団の把握と支援体制の強化 ○学校や家庭での様子を交流する全学年三者面談の実施
網走市立 第二中学校	<ul style="list-style-type: none"> ○ネットトラブル防止教室等の情報モラルを育成する取組の充実 ○PTA研修会における家族間のコミュニケーション研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめアンケートや「ほっと」を活用した支援体制の強化 ○全教職員による教育相談の実施と情報の共有
網走市立 呼人中学校	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の防犯協会による、防犯標語の募集に併置校とともに全校児童生徒で応募した。インターネットを悪用した被害の例を知るとともに、ネットいじめについて考えさせる場となった。標語の優秀作品は地域の方から表彰され、標語は地域の公共施設等で地域ぐるみの啓発活動に活用された。 ○生徒会が中心となり、小中合同の全校遊びを実施し、「網走市子ども会議」で取組と成果について交流した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども理解支援ツール「ほっと」の活用により、個々の児童が抱える不安や悩み等を理解するとともに、集団のコミュニケーションの状況等課題を全教職員で共有した。 ○「SNS等の正しい使い方講話」を実施し、スマートフォンやインターネットを通じて、様々な犯罪や被害との関連や人間関係に与える影響について学習した。 ○オープンスクールや公開研究会において、道徳の時間の授業を公開した。生命尊重や思いやり、友情について改めて考える機会となった。
網走市立 第三中学校	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒会が中心となったあいさつ運動の推進 ○生徒主体による文化祭の取組をとおした、望ましい集団づくり ○生徒会ボランティア常任委員会による、地域との交流活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○Q-Uの活用や分析をとおした、望ましい集団作りの支援体制の強化 ○いじめアンケート、教育相談週間による実態把握及び支援 ○スクールカウンセラー及び適応指導教室等との連携 ○公開研究会における道徳の時間について研修
網走市立 第四中学校	<ul style="list-style-type: none"> ○「網走市子ども会議」に関わる取組の充実 ○生徒及び保護者の交流の場とした、PTA学級レクの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○「アセス」「ほっと」を活用した生徒の実態把握、教育相談の充実 ○いじめの実態や未然防止のための学校関係機関の交流会への参加
網走市立 第五中学校	<ul style="list-style-type: none"> ○西網走地区子ども見守り支援会による西網走コミュニティセンターの無料開放事業(放課後や休日に生徒がゲームやスポーツを安心安全に活動するための居場所づくりの充実) 	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども理解支援ツール「ほっと」を活用した支援体制の強化 ○スクールカウンセラーとの連携の深化
紋別市立 紋別中学校	<ul style="list-style-type: none"> ○あいさつ運動の取組により、校内のみならず、地域にあいさつの輪を広げる運動を実施した。 ○生徒会を中心とした、「笑守一輪活動」による全校での交流の取組を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○スクールカウンセラーを活用した支援体制の強化 ○参観日による道徳の時間の授業の保護者への公開
紋別市立 潮見中学校	<ul style="list-style-type: none"> ○市P連として、インターネット社会における親子の関わりに関する研修会を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども理解支援ツール「ほっと」を活用した教育相談等の充実 ○いじめアンケートを活用した生徒指導體制の強化 ○道徳の時間の授業の保護者や市内小中学校への公開
紋別市立 渚滑中学校	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の関係機関等の協力を得た学校祭等の行事の取組の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○小中合同PTA活動における取組の充実 ○非行防止教室等の開催における関係機関との連携
大空町立 東藻琴中学校	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒会役員による声掛け運動の実施 ○休み時間に、意図的にもつ生徒との触れ合い 	<ul style="list-style-type: none"> ○「ほっと」を活用した支援体制の強化 ○参観日だけではなく、全ての道徳の時間を公開としている。
大空町立 女満別中学校	<ul style="list-style-type: none"> ○11月の教育相談期間の充実 ○地域の教育資源を活用した体験活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめ調査と教育相談を連動させた、いじめ未然防止及び早期対応の体制強化 ○Q-Uを活用した生徒の状況把握の体制強化
美幌町立 美幌中学校	<ul style="list-style-type: none"> ○「いじめが起らないように笑顔でいられる生徒会づくり」を目指した全校生徒の絆を深める生徒会の取組の充実 ○研究主題に基づいた、自己肯定感を育む対話と協同のある学びの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○Q-Uを活用した支援体制の強化 ○生徒情報交流の充実 ○教育相談活動(学級担任、教科担任、部活動指導者、養護教諭等による)の充実

美幌町立 北中学校	○自他の尊重、人権、自己肯定感や自己有用感についての講話 ○Q-U、教育相談に関わる研修	○携帯電話(LINE)による、いじめなどの実態と未然防止についての講演
津別町立 津別中学校	○いじめの未然防止に向け、家庭でのインターネット利用環境のきまりを定めてもらうとともに、メール・SNS等におけるコミュニケーションマナーの向上を図る「ノーメール・ネットタイム」の推進 ○人権教室によるスマホ安全教室の開催	○いじめの早期発見に向けて、保護者と連携して行う「PTAネットパトロール」の実施 ○小学校と連携した道徳の時間の授業公開
斜里町立 斜里中学校	○思いやりや感謝の心を育む、特別養護老人ホームへの慰問(吹奏楽部演奏会)の実施 ○部活動単位による独居老人家庭の除雪ボランティアの実施 ○外部講師を招いた道徳の時間の授業(よりよい人間関係を築く)開催や公開	○アクセスを活用した支援体制の強化 ○いじめの実態や未然防止に向けた学校関係機関等との町生徒指導連絡協議会の開催
斜里町立 知床ウトロ学校	○自己肯定感や思いやりの心を育む地域行事(敬老会等)への参加 ○道の駅における、児童による観光客対象のアンケート実施と動物へのえさやり防止啓発パンフレットの配布(知床斜里観光協会の協力) ○「親子遊びの広場」による生徒と保護者、地域住民、未就学児との交流	○公開研究会での道徳の時間の授業公開と外部講師の招聘 ○いじめ未然防止に向けた斜里町スクールソーシャルワーカーや教育局指導主事との連携 ○北海道教育大学附属釧路小・中学校公開研究会における道徳の時間の授業参観での情報収集と研究協議の参加
清里町立 清里中学校	○自己肯定感や思いやりの心を育む行事や生徒会活動の充実 ○小中高一貫ふるさとキャリア教育をとおした、小中高の連携及びコミュニケーション能力を高める取組 ○職場体験学習をとおした地域との連携及びまとめ発表をとおしたコミュニケーション能力を高める取組 ○生徒会による挨拶運動の取組 ○小中高合同音楽祭の開催	○スクールカウンセラーによるカウンセリングの実施 ○「生活リズムチェックシート」の活用 ○道徳の時間の授業公開 ○教育相談の実施 ○学校、教育委員会、保健センターによるケース会議の開催
小清水町立 小清水中学校	○「生活リズムチェックシート」を活用し、生徒と保護者によるコミュニケーションを深め、その後、学級担任と生徒による教育相談を実施した。 ○校内及び校外における生徒理解を目的とした、児童民生委員との懇談会を開催した。	○「こどもの変化チェックリスト」を活用した、保護者による生徒の観察を強化した。 ○学年部会で個々の生徒の変化を話し合い、その後、全教職員による「生徒指導交流会」を実施した。
訓子府町立 訓子府中学校	○生徒会によるあいさつ運動と異学年交流の計画 ○町内の生徒指導担当教員による異校種の問題行動の情報提供及び生徒指導交流会議への参加 ○教育専門員による毎月の生徒向け教育相談の実施	○学年保護者懇談会における、ネットいじめ未然防止の啓発資料の説明 ○アンケートによる生徒のSNSの使用状況を保護者に紹介 ○ICT専門家によるいじめにつながる、生徒及び保護者を対象とした携帯インターネットトラブル防止教室の開催
置戸町立 置戸中学校	○安心して生活できる置中を目標に掲げ、生徒総会において取組を再確認し、安心して学校生活を送る仲間としての意識を高める活動の充実を図った。 ○学級活動において、人間関係トレーニングやコミュニケーション力を高める活動の充実を図った。	○いじめや不登校に関するリーフレット等を学校や公共施設に配布し、生徒及び保護者に対し支援体制を強化した。
佐呂間町立 佐呂間中学校	○文化祭で「絆」をテーマにした各取組 ○生徒会活動による「あいさつ運動」 ○「どさんこ☆子ども全道サミット」への生徒会役員の参加	○いじめの未然防止のための学校関係機関等と連携した情報共有 ○町P連主催での教育懇談会の実施 ○町P連主催での子育て講演会の実施 ○「生活リズムチェックシート」による日常観察と相談等での活用
遠軽町立 生田原中学校	○10月に開催した文化祭において、「私の主張」発表会を実施した。「私」、「愛情について」、「いじめについて」、「命の大切さ」といった発表がなされ、生命尊重、自己肯定感、思いやりといったことについて、生徒全員で考え、取り組んでいきっかけとなった。	○いじめの実態や未然防止のため、毎月生徒理解交流会を開催するとともに、関係機関との情報交流を図った。
遠軽町立 安国中学校	○自己肯定感や思いやりの心を育むことを目的とした、紋別養護学校ひまわり学園分校との合同学習の実施	○学校便りをとおした、いじめ未然防止のための保護者及び地域住民への啓発
遠軽町立 遠軽中学校	○生徒総会(前期反省・後期計画)の話し合い活動を生かしたコミュニケーション能力の育成	○Q-Uを活用した支援体制の強化 ○二者懇談による保護者との連携の充実

遠軽町立 南中学校	<ul style="list-style-type: none"> ○笑顔プロジェクトを中心とした、心を育てる集会活動の充実。(いじめのない学校、全校レク、気遣い、良いとこ探し川柳) ○笑顔フォトの撮影と掲示 ○ありがとうメッセージの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ○hyper-QUを活用した支援体制の強化 ○参観日における道徳の時間の地域への公開 ○外部機関との連携を図った生徒指導の充実
遠軽町立 丸瀬布中学校	<ul style="list-style-type: none"> ○自己肯定感や思いやりの心を育む学校行事(学校祭)の取組の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども理解支援ツール「ほっと」を活用した支援体制の強化 ○「考え、議論する」道徳の時間の授業公開
遠軽町立 白滝中学校	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の宝である生徒の育成に関わって、関係機関との連携を図り、チーム学校としての取組の充実を図った。 ○互いのよさを見付け、思いやりの心を育む触れ合いの機会の設定に努めた。 ○生徒と地域住民が協働し、笑顔で会話を交わす時間を確保した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全教職員による道徳の時間の授業をとおして、自らの考えを表現する場(記述する場)と授業参観日等の保護者との交流の場を設定した。 ○教育相談の実施と相談資料となるアンケートを実施した。 ○子ども理解支援ツール「ほっと」を活用した支援体制を推進した。
遠軽町立 遠軽中学校 望の岡分校	<ul style="list-style-type: none"> ○施設と連携した生徒会活動 ○施設共催行事の充実 ○ボランティア団体との交流会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○毎朝の全教職員・施設職員の合同打合せの実施 ○定例の暮会による、児童生徒のその日の状況確認と職員全体での情報共有及び施設への情報提供
湧別町立 上湧別中学校	<ul style="list-style-type: none"> ○日常生活や各種行事をとおした、互いに認め合い協力する心や他人を思いやる心の育成 ○地域の関係機関等の協力を得た、生徒会の取組の充実 ○生徒会が主体となった、心と心を通わせるあいさつ運動 	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども理解支援ツール「ほっと」を活用した支援体制の強化 ○OPTA役員会を中心とした保護者との情報交流及び連携 ○学校公開日における全学級道徳の時間の授業公開
湧別町立 湧別中学校	<ul style="list-style-type: none"> ○持久走の練習やマラソン大会をとおして、互いに認め合い、励まし合う態度の定着を図った。また、保護者に関門員を依頼するとともに、地域にPRすることで、学校、保護者、地域住民が一体となってマラソン大会を開催した。 ○学校祭合唱コンクールにおいて、異学年の縦割りでも多様な人間関係を築く活動を、保護者や地域住民に広く公開し、支援を得た。 	<ul style="list-style-type: none"> ○一日参観日における道徳の時間の授業公開 ○町の取組である、ふれあい挨拶運動の取組みをとおして、保護者や地域住民と挨拶を交わすことにより、よりよい人間関係の構築を図った。
湧別町立 湖陵中学校	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒会における全校給食の設定等、触れ合う機会の拡大と充実を図った。 ○学校祭の取組の中で、異学年が一つの仕事を受けてもって係活動を行うことにより相互理解を深めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども理解支援ツール「ほっと」や学校満足度アンケートを活用した支援体制の強化 ○道徳の時間の全校授業の保護者及び地域住民への公開 ○いじめの実態等を交流する町内生徒指導連絡会議の開催
滝上町立 滝上中学校	<ul style="list-style-type: none"> ○命の大切さを学ぶ授業の実施 ・助け合いながら学校生活や社会生活を送ることを考える授業を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめの実態等に関する学校関係機関との意見交換
興部町立 興部中学校	<ul style="list-style-type: none"> ○「いじめを考える集会」の開催 ○生徒会による「あいさつ運動」の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○スクールカウンセラーによる本人及び保護者に対するカウンセリングの実施 ○Q-Uの実施
興部町立 沙留中学校	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の関係機関等の協力を得た、生徒会の取組の充実(海浜清掃、和太鼓演奏等) ○自己肯定感や思いやりの心を育むふれあい交流会の開催(廃品回収、施設訪問学習等) ○市町村が独自に開催する子ども会議等の取組の充実(「どさんこ☆子ども地区会議」等) 	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども理解支援ツール「ほっと」を活用した支援体制の強化 ○いじめの実態や未然防止のための学校関係機関等の交流会の開催(保健師、教育委員会、児童相談所、医療施設等) ○道徳の時間についての校内研究授業の開催及び公開
西興部村立 西興部中学校	<ul style="list-style-type: none"> ○他者を理解し、思いやりの心を育む福祉教育授業の実施 ○生徒会が主体となり、いじめ防止に向けたいじめ撲滅パネルの制作と朝会でのいじめ撲滅4原則の復唱の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳の時間の授業を扱った、地域公開研究会の開催
雄武町立 雄武中学校	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒会主催による全校レクリエーションと全校給食の開催 ○雄武高等学校を中心とした、ピア・サポート活動への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ○年間2回Q-Uを実施し、生徒の実態の把握と未然防止のための取組 ○PTA講演会等をとおした啓発活動 ○道徳の時間の授業を学校公開日に地域住民に公開